

ひょうご 職親会だより

2002. 9 第11号

目次

平成14年度総会・講演会の報告	P1
お祝いの言葉	
兵庫県県民生活部福祉局障害福祉課 課長 三輪 眞己	P2
思いを・・・寄せて	
神戸市こころの健康センター 副所長 森井 俊次	P2
総会	P2～5
講演会「笑いと健康」	
日本笑い学会会員・医師 隠岐 和之	P5～6

平成14年度総会・講演会の報告

会長 森 本 稔 (森本鐵工株式会社)

はじめに

総会並びに講演会に参加頂きましてありがとうございます。

日頃は当職親会の運営に種々ご協力頂いておりますことを心から感謝申し上げます。

本日は県障害福祉課三輪課長様、神戸市こころの健康センター森井副所長様、県立精神保健福祉センター大西所長様、兵家連西浦会長様、神家連前川会長様には、公務多忙の中ご臨席を頂き、錦上華を添えて頂きました。本当にありがとうございます。

なお、事務局を担当している県立精神保健福祉センター職員の方々にも高い席からですが感謝申し上げる次第です。

さて、ご承知の様に職親会を設立して5年を経過し6回目の総会です。私たち職親は当初より「単に職場を提供しているだけでなく、精神保健福祉に関する研修や精神障害者の社会復帰の一端を担おうと日夜努力してきました」が、

まだまだその手法にはひと工夫もふた工夫もしなければならぬのが現状でしょう。

単に漫然と社会適応訓練事業を続けている事に疑問視される向きもありますが、私たち職親は精一杯の努力を重ねております。職親を増やしてきた数の時代から質の時代だと云うことになるでしょう。また次のステップとして、本年はまず役員から労働サイドへの移行の実際について学習を深めたいと考えております。

三障害同一だと言われておりますがスタートの遅れは如何ともし難い感がありますが、今後国・県・センター・市町の精神障害者対策の前進へのご努力を期待したいと思います。

関係者が力を併せて精神障害者の社会復帰が、今一步進むようお願いいたしますと共に微力ではありますが、協力事業所として頑張ります。

最後になりましたが、一層の本会へのご支援ご協力をお願いして挨拶とします。

お祝いの言葉

兵庫県県民生活部福祉局障害福祉課 課長 三輪 眞己

本日は、平成14年度兵庫県精神保健職親会総会が盛大に開催されますことを心からお喜び申し上げます。また、お招き頂きありがとうございます。

また、平素は本県の精神保健福祉行政の推進に格別のご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

この社会適応訓練事業（通院患者リハビリテーション事業）も、昭和62年より事業を開始して以来16年目、それに先だって昭和47年に職親制度が開始されて30年を経ており、本年3月末には、職親236事業所・訓練生は188人と全国でもトップレベルの実績をあげておられます。これもひとえに森本会長はじめ、職親の皆様方のご理解と熱意の賜であると敬意を表すと共に感謝申し上げます。

さて、精神保健福祉行政は「入院治療中心の医療体制から、地域におけるケア体制へ・・・」という大きな流れの中、本年4月からはホームヘルプ事業が開始されるとともに、福祉相談の窓口や精神障害者保健福祉手帳及び通院医療費公費負担窓口も住民の方々にとってより身近な市町に移譲されるなど、地域で生活する精神障害者の方に対する生活支援のための体制整備が図られました。県としましても、市町との連携を強化しながら、サービス基盤の整備を進めることとしております。

さらに、本年度は厳しい経済雇用情勢の中、授産施設・小規模作業所の受注先や販路開拓支援を行うしごと支援事業を開始するなど、働く場の確保に取り組んでまいります。

また、精神障害者に対する正しい理解の推進も大変重要なことと考えており、職親会の皆様方のご支援・ご協力を頂きながら精神障害者の自立と社会復帰に取り組んでまいりたいと考えております。

思い・・・を寄せて

神戸市こころの健康センター副所長 森井 俊次

社会適応訓練事業（職親）を私が最初に知ったのは今から15～6年前になるでしょうか。

当時、退院してきた患者さんが「毎日退屈だ。どこかで働きたいが病院にも通院しなくてはならないし、1日働くのはちょっとしんどいかな？」そんな会話の中で「じゃ、一度一緒に探しに行くか」ということになった。「職親になってもらえないか？」「職親とはこんな制度ですが・・・」と説明するが、なかなか理解を示してくれる企業はなかった。今は精神障害者の理解も当時よりもよくなり、社会適応訓練事業についても一定の理解が得られるようになったのは、時代かなあと感じさせられる。

それはさておき、当時数十件企業を訪ね歩いた。そんな中に1件の企業が「アルバイトのようなものですね」と理解を示して半日（4時間）働かせてもらうことになった。

彼は、仕事が終わると帰りに保健所に寄って、今日あった出来事を話して帰ることが日課になった。

彼は今でも同じ会社で働いているが、そういう企業や患者さんが多く出て来て欲しいものです。

総 会

平成13年度事業実績

事業名	開催年月日	開催場所	事業内容
1. 定期総会・講演会	13. 6.12 (火)	あすてっぴ神戸 (神戸市男女共同参画センター)	《総会》 《職親からのメッセージ》 (株)伸和青果食品 細見 勝 《講演》 「こころの健康について考えよう」 県立精神保健福祉センター 大西 道生 *参加者：69人
2. 社会復帰関係者合同研修会（地域限定）	13.11.20 (火)	ナガサワ鶴林店（加古川）	《講話》社会適応訓練事業とは？ 県障害福祉課 《現場からの報告》 ・社会適応訓練事業を体験して (訓練生より) ・社会適応訓練事業を通して (家族より) ・精神障害者を取り巻く労働施策（雇用・リハビリ等）の現状

			兵庫障害者職業センター 五十嵐意和保 加古川公共職業安定所 藤谷 淳一 《懇親会・情報交流会》 *参加者：32人
3. 役員会	13. 5.17 (木) 13. 9.28 (金) 13.11.9 (土)	精神保健福祉センター // 弥生会館 (京都)	議題「活動結果及び今年度の活動について」(役員4名 事務局等5名) 議題「職親研修会計画及び全国職親研修会への協力体制について」(役員7名 事務局等5名) 議題「全国職親会において各地の取り組みをふまえて」(役員4名 事務局等3名)
4. 広報普及	13. 9 13. 11 14. 1 随時		・ひょうご職親会だより 第9号 ・パネル「職親会とは?」作成 ・ひょうご職親会だより 第10号 ・リーフレット「手伝って下さい! 職場への第1歩」
5. 他機関との連携・協力 (含イベント参加)	13. 9. 4 (火) 13. 9.21 (金) // .11.13 (火) 14. 2. 1 (金) 13.11. 3 (土) 14. 3.22 (金)	福崎健康福祉事務所 県民会館 農業共済会館 // メリケンパーク 能力開発支援センター	管内職親交流会 事務局 1名 県産業労働部しごと対策課主催 「障害者雇用・就業支援ネットワーク 検討会」 各会とも会長 ハートフェスタ2001 パネル出展 県能力開発課主催 「県立高等技術専門学校等指導員研修会」 会長
6. 全国職親会への協力	13. 6.21 (木) 13.11. 9 (金) ~10 (土) 14. 3.15 (金) ~16 (土)	全家連会館 (東京) 弥生会館 (京都) 国立精神・神経センター (千葉)	全国精神保健職親連合会総会 会長 全国精神障害者社会適応訓練事業研修 会(会員7名 事務局3名 関係者4名) 第13回全国精神職親研究会 (会長 事務局1名)

(参考1)

- ・兵庫県精神保健職親会会員 62 事業所
- ・ // 賛助会員 107 人
- ・社会適応訓練事業
協力事業所数 236 事業所

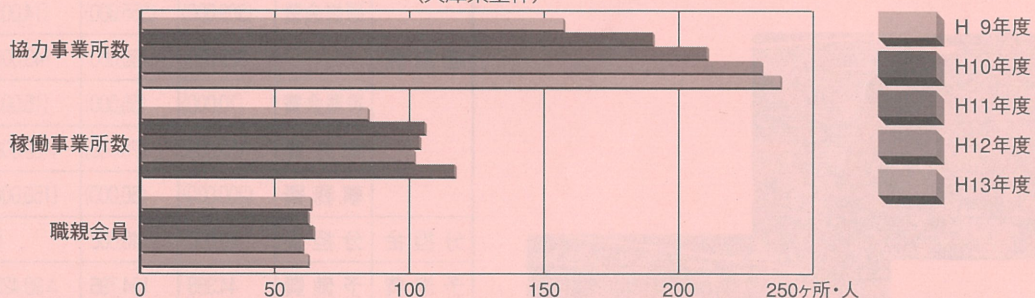
〈内訳〉

(平成14年3月31日現在)

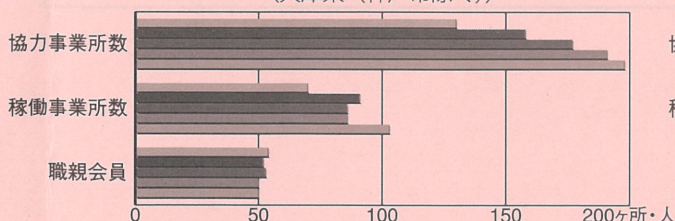
	事業所数 (稼働事業所数)	職親会員数
兵庫県	198 (103)	50
神戸市	38 (13)	12
計	236 (116)	62

(参考2) 事務所・会員等の推移

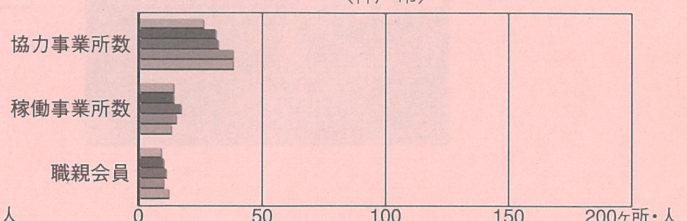
〈兵庫県全体〉



〈兵庫県 (神戸市除く)〉



〈神戸市〉



平成13年度収支決算書

(収入の部)

(単位：円)

款	項目	決算額	備考
事業収入		762,000	
	会費収入	(120,000)	@ 3,000円×40事業所
	賛助会費収入	(96,000)	@ 1,000円×96口
	委託費	(546,000)	兵庫県
事業外収入		58	
	寄附金	(0)	
	雑収入	(58)	貯金利息
繰越金	前期繰越金	161,796	前年度から
計		① 923,854	

(支出の部)

(単位：円)

款	項目	決算額	備考
事業費		413,949	
	普及啓発費	(204,370)	たより発行2,000部×2回 リーフレット作成 ほすたあ(全国職親会機関誌)配布
	講演会費	(29,850)	
	研修会費	(179,729)	全国研修会・職親会研修会
運営費		248,592	
	役員会費	(49,988)	旅費
	総会費	(42,208)	借室料等
	事務費	(156,396)	郵送料・用紙等の各種消耗品等
分担金	分担金	40,000	全国職親会会費
小計		② 702,541	
繰越金	次期繰越金	221,313	次年度に繰越(①-②)
計		923,854	



平成14年度事業計画

- 1 定期総会及び講演会
- 2 研修会の開催(年2~3回)
昨年度実施した加古川地域でのステップアップ研修
その他の地域での地域限定版研修会
県・神戸市センターとの共催で社会復帰関係者
研修会(於:神戸市)
- 3 役員会の開催(年3回)
- 4 広報普及・情報提供 ひょうご職親会だより増刷
発行(2000部から3000部)
- 5 全国職親会への参加並びに連携
- 6 会員の拡充
- 7 各種関係機関との連携・協力
- 8 その他

平成14年度予算

(収入の部)

(単位：円)

款	項目	本年度予算額	前年度予算額	増減	備考
事業収入		1,089,000	831,000	258,000	
	会費収入	(186,000)	(180,000)	(6,000)	@3,000円×62事業所
	賛助会費収入	(107,000)	(105,000)	(2,000)	@1,000円×107口
	委託費	(796,000)	(546,000)	(250,000)	兵庫県546,000 神戸市250,000
事業外収入	寄附金	1,055	2,000	△945	
	雑収入	(1,000)	(1,000)	(0)	科目設定
	前期繰越金	(55)	(1,000)	△(945)	預金利息等
繰越金		221,313	161,796	59,517	前年度から
計		1,311,368	994,796	316,572	

(支出の部)

(単位：円)

款	項目	本年度予算額	前年度予算額	増減	備考
事業費		904,000	640,000	264,000	
	普及啓発費	(365,000)	(250,000)	(115,000)	たよりの増刷発行等
	講演会費	(170,000)	(35,000)	(135,000)	講演会
	研修会費	(369,000)	(355,000)	(14,000)	各研修会・地域交流会
運営費		323,000	180,000	143,000	
	役員会費	(70,000)	(55,000)	(15,000)	旅費
	総会費	(53,000)	(75,000)	△(22,000)	定期総会
	事務費	(200,000)	(50,000)	(150,000)	郵送料、払込 手数料等
分担金	分担金	40,000	40,000	0	全国職親会会費
予備費	予備費	44,368	134,796	△90,428	
計		1,311,368	994,796	316,572	

「笑いと健康」

日本笑い学会会員・医師 隠岐 和之

笑いとユーモアは心や身体を健康に人間関係を滑らかにする妙薬

我が国には、生老病死をユーモアと笑いで包んで語るという伝統があります。江戸時代に花開いた狂歌や川柳がその代表ですが、現代の川柳がその流れを汲んでいます。生老病死が誰もが通らねばならない道なら、苦として深刻に受け止める代わりに笑いのめし洒落のめして気楽に行こうというのです。ユーモラスな川柳の名句（迷句）の数々を味わいながら健康・老年・人間関係などの問題を一緒に考えましょう。

まずこてしらべ・・・

～ある男道をゆくうちにもよおしてきて、お寺に駆け込んで便所を借りましたが・・・
拭くにも紙がありません。

男：「和尚さ～ん紙くれませんか～～」
和尚さん：「ナンマイダ～～」

笑えました???

ユーモアのない人間は
スプリングのない荷車の・・・ごとし

川柳とは・・・

江戸時代の柄井川柳に始まるとされています。約250年前に活躍したこの人の雅号に因んで名付けられました。江戸川柳とか古川柳と呼ばれ、現在まで語り継がれているものもいくつかあります。

【古川柳のいくつかを・・・】

- ・居候 三杯目にはそっと出し
- ・泣く泣くも良い方をとる形見分け
- ・女房の妬くほど亭主持てはせず
- ・孝行をしたい時分に親はなし

今も昔も変わらないものもあれば、時代を感じさせるものもありますよね

で・・・現代に入ると・・・

★肥満

- ・石油危機! 使って下さい皮下脂肪
- ・ふとりたくない人ばかり ふとる秋
- ・ピチピチよ 昔は私 今は服
- ・内臓肥満とは わしのことかと布袋さん

★病院

- ・病院でハワイへ行くほど待たされる
- ・内科歯科皮膚科鍼灸ああしんど
- ・歯には効きかつらに効かぬ保険料
- ・検診の三日前から禁酒する

★健康法

- ・健康法みんな試して行くあの世
- ・結局は服ぶらさがり健康機

★若いつもりが

- ・お若いと言われて若くないと知る
- ・おばさんと何度もよばれ左右見る

★老年期

- ・年寄りには愚痴は続くが息は続かず
- ・仮病など使わず持病持っている
- ・骨粗鬆症 字を書くだけで骨が折れ
- ・白内障 医者はクールに年でんな

★ボケ

- ・わがボケに気づく程度でいたいボケ
- ・立った訳 座り直して考える
- ・わしは今 何を探しているのやら
- ・思い出せぬ顔がにこにご寄ってくる

★ボケ候補生

- ・ユーモアの一つも言えずひとりぼち
- ・大過なく面白みなく末はボケ

★ ボケ防止

・ボケ防止 今日カラオケ明日カルチャー

・長寿法ほんのりとした恋もよし

★ 夫婦不満の巻

- ・耐えてきたと言う妻に耐えてきた
- ・まだ寝てる 帰ってみればもう寝てる

★ 夫婦喧嘩

- ・いさかいの後てれくさい妻のお茶
- ・気迫込め口喧嘩する仲の良さ

★ 夫婦円満の巻

- ・夕焼けが綺麗で妻を呼び
- ・次の世もあなたの傍に指定席

★ おおきに

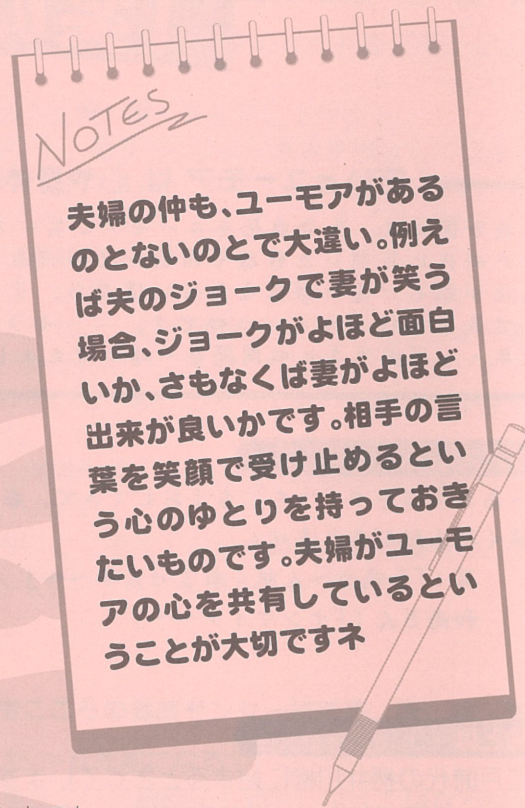
- ・おおきにと言うて夫が逝きました
- ・夫婦でもおおきに言わなあきまへん

★ 終わったなあ

- ・終わったなあ じいちゃん死んで ばあが言う
- ・じいちゃんを拜んで婆ちゃんまた旅行

★ PPK (ピチピチ生きてコロリ死ぬ)

- ・年金で百まで生きてこましたろ
- ・あの世へは落ちこぼれずに みんな行く



パロディーも笑いとユーモアの宝庫

- 「忍ぶれど顔に出にけり我が齢はしわの増えしと人のいうまで」
- 「たわむれに妻を背負いて腰砕け」
- 「立てば芍薬 座れば牡丹 歩く姿で水の泡」
- 「健康のために生き過ぎに注意しましょう」
- 「老いても子に従われ」
- 「子を持って知る親の損」
- 「ローパは一日にして成らず」
- 「年寄り同士の介護交際」
- 「貴様と俺とは動悸の息切れ」

00

皆さ～ん
 何をもじったか考えて
 見て下さい♪!(^^)!

いかがでしたか？どれだけ笑って頂けましたか？

最後に一言 「人生にもっともっと笑いとユーモアを取り入れませんか」・・・と



会員・賛助会員を随時募集しております！

兵庫県精神保健職親会

事務局：〒652-0032 神戸市兵庫区荒田町2丁目1-29

県立精神保健福祉センター内

Tel: (078) 511-6581 Fax: (078) 511-6585